



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月26日

上場会社名 株式会社 レッグス
 コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内川 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 米山 誠

TEL 03-3408-3090

四半期報告書提出予定日 平成30年7月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	6,263	10.5	405	249.4	424	125.7	299	129.9
29年12月期第2四半期	5,669	2.9	116	70.6	188	52.7	130	47.4

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 325百万円 (202.8%) 29年12月期第2四半期 107百万円 (43.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	28.37	28.07
29年12月期第2四半期	12.48	12.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	7,019	5,324	75.0
29年12月期	7,354	5,190	69.8

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 5,267百万円 29年12月期 5,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		19.00	19.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	8.8	1,000	18.1	1,000	8.1	690	9.6	65.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	10,840,000 株	29年12月期	10,840,000 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	269,830 株	29年12月期	302,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	10,564,417 株	29年12月期2Q	10,445,783 株

(注) 株式給付信託(J-ESOP)制度導入に伴い、期末自己株式数には、信託口が保有する当社株式(30年12月期2Q100,000株、29年12月期100,000株)が含まれております。なお、信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年12月期2Q100,000株、29年12月期100,000株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足への対応のための設備投資等は堅調に推移し景況感を下押ししているものの、原油価格の高騰による企業マインドの悪化や、貿易戦争の拡大による保護主義への警戒感の強まり、さらには、大阪北部地震・西日本豪雨による被害状況の影響等もあり、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、中長期的な経営戦略に基づいて、コンテンツを活用した取り組みの強化により、従来のプロモーションに加えOEM（注1）・物販等への拡大を推進してまいりました。従来のプロモーションにおいては、戦略市場である流通および日用雑貨業界を中心に、VMD商材（注2）、WEB連動キャンペーンなど、近年の顧客の販促ニーズの変化に対応した商材提供による既存顧客の深掘りと共に、その他の業界での新規顧客開拓を行ってまいりました。その一方、TV・映画やライブイベント等と連動し、積極的にコンテンツを活用したOEM・物販やコラボカフェ企画等コト消費にも注力してまいりました。引き続き、付加価値の高い事業の展開と生産性向上により収益力の強化を図ってまいります。また、働き方改革として、意識改革と業務改革を進めることで、時間外勤務管理体制を強化しております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高においては、OEM顧客向け等の落ち込みはあったものの、日用品メーカー顧客向けおよびカフェ物販の好調により前年同期比で増収となりました。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益に関しては、主に人件費等を中心とした販売費及び一般管理費の増加分を増収により吸収し、前年同期比で増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,263百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は405百万円（前年同期比249.4%増）、経常利益は424百万円（前年同期比125.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は299百万円（前年同期比129.9%増）となりました。

（注1）発注元企業の名称やブランド名で販売される商品

（注2）商品展示効果を高めるため、店舗全体の空間デザインから商品の展示・陳列までを統合的に提供する商材およびサービス

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて335百万円減少し、7,019百万円となりました。これは主に、商品および投資有価証券が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて469百万円減少し、1,695百万円となりました。これは主に、買掛金および未払法人税等が減少したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて134百万円増加し、5,324百万円となりました。これは主に、資本剰余金が減少したものの、資本金、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて74百万円増加し2,958百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は395百万円（前年同期比6.6%減）となりました。これは主として仕入債務の減少286百万円、たな卸資産の増加261百万円および法人税等の支払額235百万円による資金の支出があったものの、売上債権の減少790百万円および税金等調整前四半期純利益424百万円による資金の収入があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は111百万円(前年同期は17百万円の収入)となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出100百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は195百万円(前年同期比6.8%増)となりました。これは主として配当金の支払201百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成30年7月19日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,884,570	2,958,799
受取手形及び売掛金	2,885,609	2,093,615
商品	295,317	561,399
その他	176,149	149,548
貸倒引当金	△25,588	△21,461
流動資産合計	6,216,058	5,741,902
固定資産		
有形固定資産	64,963	60,002
無形固定資産	23,719	28,085
投資その他の資産		
投資有価証券	604,907	760,140
その他	445,233	429,312
投資その他の資産合計	1,050,140	1,189,453
固定資産合計	1,138,823	1,277,540
資産合計	7,354,882	7,019,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,018,675	731,140
未払法人税等	264,563	120,096
賞与引当金	90,225	103,911
その他	379,875	311,998
流動負債合計	1,753,340	1,267,146
固定負債		
退職給付に係る負債	224,654	235,322
株式給付引当金	23,205	30,345
その他	163,458	162,223
固定負債合計	411,318	427,890
負債合計	2,164,658	1,695,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	220,562	350,000
資本剰余金	377,016	246,263
利益剰余金	4,462,350	4,559,966
自己株式	△146,002	△134,151
株主資本合計	4,913,926	5,022,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,654	193,002
繰延ヘッジ損益	—	△10
為替換算調整勘定	66,703	52,239
その他の包括利益累計額合計	219,357	245,231
新株予約権	56,939	57,094
純資産合計	5,190,224	5,324,404
負債純資産合計	7,354,882	7,019,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,669,274	6,263,504
売上原価	4,052,712	4,270,201
売上総利益	1,616,561	1,993,303
販売費及び一般管理費	1,500,550	1,587,931
営業利益	116,011	405,372
営業外収益		
受取利息	2,900	3,530
受取配当金	221	—
為替差益	—	795
受取保険金	52,080	4,342
受取手数料	5,703	6,271
その他	12,626	4,324
営業外収益合計	73,532	19,263
営業外費用		
為替差損	1,339	—
その他	92	9
営業外費用合計	1,432	9
経常利益	188,111	424,626
特別利益		
新株予約権戻入益	3,014	—
投資有価証券売却益	2,774	—
特別利益合計	5,788	—
税金等調整前四半期純利益	193,900	424,626
法人税、住民税及び事業税	122,120	108,578
法人税等調整額	△58,593	16,309
法人税等合計	63,527	124,888
四半期純利益	130,373	299,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,373	299,738

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	130,373	299,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,826	40,348
繰延ヘッジ損益	65	△10
為替換算調整勘定	△7,081	△14,464
その他の包括利益合計	△22,843	25,873
四半期包括利益	107,530	325,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,530	325,611

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	193,900	424,626
減価償却費	10,922	9,544
株式報酬費用	14,195	11,145
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,839	13,912
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,079	10,668
受取利息及び受取配当金	△3,121	△3,530
保険解約損益(△は益)	△52,080	△4,331
新株予約権戻入益	△3,014	—
売上債権の増減額(△は増加)	486,690	790,217
たな卸資産の増減額(△は増加)	△103,031	△261,128
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,588	△286,615
未払金の増減額(△は減少)	△74,689	△35,809
未払費用の増減額(△は減少)	△36,541	△17,123
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,327	△35,872
その他	13,159	12,652
小計	420,390	628,357
利息及び配当金の受取額	3,890	3,446
法人税等の支払額	△6,339	△235,893
法人税等の還付額	5,976	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,918	395,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△93,129	△100,000
投資有価証券の売却による収入	17,135	—
有形固定資産の取得による支出	△3,498	△106
無形固定資産の取得による支出	△11,000	△8,964
保険積立金の積立による支出	△11,085	△11,217
保険積立金の解約による収入	110,989	10,980
投資事業組合からの分配による収入	12,250	4,670
その他	△4,000	△6,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,660	△111,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△188,936	△201,035
自己株式の売却による収入	6,982	6,716
その他	△694	△724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,648	△195,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,359	△15,225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	252,570	74,229
現金及び現金同等物の期首残高	1,929,871	2,884,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,182,442	2,958,799

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。